



蒲田交信局



前回に引き続きまして、営業部の浅井です。よろしくお願ひします。

今回は「家族との思い出」について書かせていただきます。前回は紹介しましたが、私は妻と2歳の娘の3人家族です。色々なエピソードがありますが、現在も妻と晩酌をしていると時々話題に挙がるものを紹介します。

私と妻は今から6年前、2008年の5月に結婚をしました。一生に一回の事だから、とゴールデンウィーク・結婚休暇・有給休暇を全て合わせて長期休暇をもらい、新婚旅行も兼ねてハワイで結婚式を挙げました。今から考えると、結婚式当日もすごく緊張していたのを思い出します。指輪交換もなかなか指に入らず焦りました。

そんな緊張の結婚式も無事に終わり、翌日ワイキキビーチに繰り出しました。妻は日焼けを気にしてパラソルの下でアルコールを飲んで、前日の疲れもあったのでしょう、気持ちよさそうに寝てしまいました。逆に私は緊張から解放され、「日焼けオイル」をたっぷり塗って、海水浴を楽しみました。

ある程度遊んで満足して、妻を起こしに行った時の事です。

「ん？」何か違和感がありました。ふと自分の指先を見てみると昨日交換したはずの結婚指輪が……ありません。(汗)

指が締め付けられるのが嫌で大き目のものを購入していたことと、「日焼けオイル」を塗っていたことが仇となってしまいました。そのあといくら探しても「海は広いなあ」と再確認するだけで肝心の指輪は見つかりませんでした。(笑)

そのあと同じ指輪を現地で購入しましたが、今でも妻の指輪の内側にはイニシャルと結婚記念日が彫られています、私の指輪には彫られていません。(笑)

今では笑い話になりますが、当時はかなり焦りました。しかしながら、結婚式翌日に指輪を無くした事に怒りもせずに、笑っていた妻の器量の大きさには驚かされた事件でした。(笑)



株式会社 城南村田 かわら版

2014年 4月号

蒲田交信局



平素より株式会社 城南村田をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。営業部の寺田 匠児と申します。若造ではありますが、僣越ながら、私の自己紹介をさせていただきます。

私がこの「株式会社 城南村田」を知ったきっかけは品川某所で行われた説明会でした。当時、営業職を軸に就職活動をしていた私は、意気揚々と弊社説明会へと乗り込んだのですが...代表者による会社説明の開口一番、弊社の代表取締役である青沼から出てきた言葉に耳を疑ったことを今でも覚えております。

「みなさん、紙業界、今後本当に大丈夫ですか？」

...いや、いやいやいやいや。

紙の会社の社長さんがそれを言ってしまっただけで良いのでしょうか？
私は最前列で、開いた口が塞がらないまま説明会を聞いていました。

しかし、城南村田の社訓は“Half Serious でいこう”。書籍や書類の電子媒体化が進み、紙の需要が落ち込むであろうこの世の中で、それでも周りを助け、支え合い、他にも何かやって仕事を作っていこうじゃないか、という会社の姿勢に惹かれるものを感じ、気付けば入社から丸3年を数えております。

そんな私寺田ですが、2011年3月に東京の明治学院大学 社会学部を卒業し、紙部門の営業として2011年4月に弊社 城南村田に入社いたしました私は現在26歳。誕生日が1987年4月13日なので、間もなく27歳になろうとしております。昭和62年生まれと、ギリギリ昭和世代ですが、日本が一番勢いのあった昭和という時代を少しでも肌で感じる事ができたことに誇りを感じています。

また、入社2年目からは金型のCAD/CAMの勉強も始めました。バリバリの文系男子の私にとって三次元CAD/CAMの習得は大変過酷でしたが、ここでスキルを磨き、将来的に金型、そしてトレー販売の技術営業として皆様に貢献できるよう、ただいま修行の真っ只中でございます。

営業としての日が浅いため、まだまだ私のことを知らないお客様も多いとは思いますが、今後も自己紹介等をお送りさせていただきますので、これからも寺田と弊社 城南村田をよろしく願いいたします。